

# 長谷川陽子

〈デビュー30周年記念〉

チエロの個展  
2017

Con Brio 〈豊穣の響き、シヨパンとミヤスコフスキー〉

Yoko Hasegawa  
Cello Recital

2017.12.2 (土) 18:00開演 (17:30 開場 20:00 終演予定) 浜離宮朝日ホール

6:00 p.m. December 2nd at Hamarikyu Asahi Hall

全席指定¥5,500 (税込)

## PROGRAM

ベートーヴェン 魔笛の「恋人か女房か」の  
主題による12の変奏曲 へ長調 op.66

シヨパン チェロ・ソナタ Op.65

ミヤスコフスキー チェロ・ソナタ第二番 イ短調 op.81

吉松隆 〈遠くからの3つの歌〉(委嘱新作)

ポッパー ハンガリアン・ラブソディ Op.68

7月1日(土)10:00発売開始

ジャパン・アーツ夢倶楽部会WEB:6月24日(土) TEL:6月25日(日)

ジャパン・アーツぴあネット会員WEB:6月28日(水)

※事務局の方はジャパン・アーツぴあへお問い合わせください

〈お問合せ・お申込み〉

ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040

www.japanarts.co.jp

◎朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990

◎チケットぴあ 0570-02-9999 pia.jp/t(Pコード:000-000)

◎ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:00000) ◎イープラス eplus.jp

主催:朝日新聞社/ジャパン・アーツ

協力:ビクターエンタテインメント 後援:長谷川陽子ファンクラブ“ひまわり”



青柳 晋 [ピアノ]

# Yoko Hasegawa

Cello Recital

今年の「チェロの個展」では、ショパンとミヤスコフスキーという二人のポーランド生まれの作曲家のソナタを取り上げます。

ショパンが、人生最後の締めくくりに病床の中で書き記したのが、この「チェロ・ソナタ」。盟友であり名チェリストであったフランショームの手を借り命を削りながら一音一音したためたソナタです。この曲の初演はショパン自身とフランショーム。ですが、その時には既にショパンには全楽章を演奏する体力は残っていなかったそうです。人生の終焉に向かって時を刻む人間のいったいどこから、この力強い躍動感と芳醇なロマンスティズムが湧き上がってきたのでしょうか。

そして、ミヤスコフスキーはロシアの作曲家ですが、ポーランドに生まれました。近年特に交響曲においてその素晴らしい才能を認知されている彼ですが、ロストロポーヴィッチとの親交から、世にも美しいチェロ・ソナタ2曲とチェロ協奏曲を書いています。中でもこの2番の美しさは、天女の羽衣のような繊細な音色から大陸的な力強いカンタービレまで、ありとあらゆるチェロの魅力が鮮やかに描かれています。あまり演奏される機会のないこの曲を今回、皆さまにご紹介できること、私もワクワクしています。

今回、この2曲の素晴らしい作品を皆さまに聴いていただくにあたり、最高の共演者を得ることができました。高校時代から同級生として切磋琢磨した青春時代をともに送り、現在ももっとも尊敬する音楽家であり盟友である青柳晋さんの色彩感あふれる音色とともに、私もショパンとミヤスコフスキーの豊穡な音の世界に飛び込んでいきたいと思えます。

そして、もう一つ。今回のプログラムでは吉松隆さんにチェロのための新曲を委嘱いたしました。今回吉松さんをお願いしたことは「チェロがもっとも朗々と歌える曲を書いてください。」皆さまに聞いていただくのが楽しみでなりません!!

デビューして30年。今回は純粋に「チェロのための作品」だけでプログラムを組みました。最もチェロらしい響きを思う存分、心の底から私も楽しみながら演奏したいと思います。そしてその喜びを、客席の皆さまと共有できたら、こんな幸せなことはありません。

——— 長谷川陽子

## 長谷川陽子 (チェロ) Yoko Hasegawa, cello

日本を代表するチェロ奏者の一人。2017年にデビュー30周年を迎える。1987年音楽之友社主催「フレッシュ・アーティスト・シリーズ」にてリサイタル・デビュー。1988年小林研一郎指揮、日本フィルとの共演で協奏曲デビューした。その後、フィンランドのシベリウス・アカデミーに留学し、1992年首席で卒業後帰国。これまで、国内外の主要オーケストラとの共演、全国各地でのリサイタルのほか、朗読との共演など、その活動は多岐にわたる。2016年には、J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を行い、全国各地に名演を届けた。録音はビクターエンタテインメントより20枚以上のCDをリリースし、いずれも好評を博している。霧島国際音楽祭賞、ロストロポーヴィッチ国際チェロコンクール特別賞、新日鉄フレッシュ・アーティスト賞、第9回齋藤秀雄メモリアル基金賞等、受賞多数。後進の指導にもあたり、現在、桐朋学園大学音楽学部准教授を務めている。

ホームページ <http://yoko-hasegawa.com/>

## 青柳 晋 (ピアノ) Susumu Aoyagi, piano

ニカラグアで生まれ、米国で5歳よりピアノを始め、同年初リサイタルを開く。9歳でフォートワース交響楽団と共演。全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、桐朋学園大学在学中に西日本音楽賞受賞。19歳でベルリン芸術大学に留学。ロン・ティボー国際コンクールに入賞後、ヨーロッパからアメリカに至るまで各地で演奏する。ハエン、カゼッラ、ポリノの各国際コンクールで第1位受賞。1997年より日本で演奏活動を開始し、全国各地のオーケストラと数多く共演。浜離宮朝日ホールでは自主企画リサイタル「リストのいる部屋」を毎年開催。青山音楽賞、ショパン協会賞を受賞。これまでに7枚のCDをリリース、いずれも高い評価を受けている。現在、東京藝術大学准教授。



未来へはばたく子供たちへ支援をしています

「未来にはばたく子供たちのために、もっと生の演奏を聴く機会を増やしてあげたい。今回は、私の礎を築いた桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」の子供たちをこの公演に招待したいと思います。」

Yoko Hasegawa

この長谷川陽子の活動に、サポーターとしてご協力いただける方は、長谷川陽子ファンクラブ

「長谷川陽子チェロ好き広場～ひまわり」まで詳細をお問い合わせください。

[http://yoko-hasegawa.com/about\\_fun.php](http://yoko-hasegawa.com/about_fun.php)

◎ お問い合わせ専用メールアドレス：musicbaton@yoko-hasegawa.com



## 浜離宮朝日ホール

朝日新聞社新館2階 TEL.03-5541-8710

[交通のご案内]  
都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅 A2出口すぐ  
エレベータはA3出口

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ〉

- ① やむを得ない事情により、曲目が変更になる場合がございます。
- ② お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。また、いかなる場合も再発行はできません。紛失等に十分ご注意ください。
- ③ 演奏中は客席に入れません。
- ④ 未就学児の入場はご遠慮下さい。託児サービスをご利用いただけます。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222 ⑤ 全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。また、ご入場には一人1枚チケットが必要です。
- ⑥ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話の使用、これらに類する行為は固くお断りいたします。
- ⑦ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑧ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。